

～飯塚ひろしの句

春休み捨て損なひて処女である

現代女性の奔放さを皮肉っているが、はっきり言い切った中に大らかさがあり娘心の危なっかしさも覗かれる。

これが滑稽の中の真実なのかも知れない。

卒業をするや勉強したくなり

天邪鬼の若い頃、私もその経験があり、人間一生勉強なりと、学生時代を惜しんで、やっと机に向うことが嬉しく尊いと思うようになった。

学生時代の恩師から あなたは卒業してからの優等生と言われてしまった。

さりげなく叙している中に 人の心理とあふれんばかりの向学心が見えてくる。